

令和 7 年度 三次市

一般会計 歳入歳出決算認定に係る事業別審査シート

NO, 1

(単位:千円)

款	項	目						
2	1	8	担当部局・課名	地域共創部 まちづくり交通課				
事業名			自治振興活動費補助事業					
事業区分		継続事業（拡充）		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金、補助及び交付金	⑨交付金	200,817	199,316	0	1,501	99.0%
	②							
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） ➡		199,316	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし" 0 "を挿入 ➡		0	該当 / 頁	100	
	臨時会 補正		⑧（⑥ + ⑦）事業決算合計額 ➡		199,316	該当 / 頁	101	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）		活動実績により自治活動支援交付金及び選択事業が満額交付とならなかった自治組織があったことによる不用額						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和7年度	199,316		0	0	0	199,031	285	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他		地域振興基金繰入金、協働のまちづくり事業助成金、基金利子					
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地域住民自ら地域の課題に対し、地域活動の実践を通して地域活性化を図り、住民自治のまちづくりを進めていく住民自治組織の活動を支援する。交付金による支援を行うことで、各地域において「まちづくりビジョン」達成のための活動を推進し、持続可能なまちづくりにつなげる。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状況 写真／図面等	自治振興活動費補助事業費計 199,315,838円 ○負担金、補助及び交付金 199,315,838円 ■19住民自治組織への交付金 197,791,838円 ・基本事業分:167,834,838円 ・選択事業分: 29,957,000円 ■地域共創プロジェクト事業 1,524,000円 ①神杉地区自治会連合会(454,000円) 地域行事である神杉大田植を神杉小学校の学習活動の一環として全児童を登校日とした。地域と学校が連携し文化の継承を図り、郷土愛を育むとともに地域づくりに参画する仕組みづくりを行った。次年度以降も全児童登校日とする予定。 ②田幸地区町内会連合会(200,000円) 塩町駅(地域資源)を活用し、中・高校生を対象とした関係人口の創出を行った。アンケートを基に生徒の意向を反映した事業を展開するとともに、イベント時の運営スタッフとして主体的な参画を促進。地域活動への関わりを深めることで、将来的な中高連携に向けた確実な一歩となった。 ③吉舎町自治振興連合会(500,000円) 吉舎駅の駅舎環境を整備し安全な駅舎を提供するため、日彰館高校生と地域住民が共同で修繕及び改修を行った。主な利用者である高校生の有意義な待合の場となった。 ④君田自治区連合会(370,000円) 君田小学校児童へ農業を通じた各種体験を提供し、地域や農業への関心・愛着を育んだ。収穫後は販売体験まで行い、農業の大変さ尊さを学んだ。							
								
別添資料等	無							
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	交付金により、各地域の「まちづくりビジョン」の実現に向けた取組を支援した結果、交流人口の増や自主的な活動の活発化などの成果として表れています。選択事業では、各組織が抱える複合的な地域課題の解決に向けた取組の推進に寄与しています。引き続き、住民自治組織とのヒアリングで出された意見などを踏まえながら、本制度の改善を図るとともに、持続可能なまちづくりの伴走支援につなげていきます。 また、地域共創プロジェクト事業により、地元の小中高生と連携した世代間交流によるまちづくりが広がるなど、新たな活力も生まれています。							

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部 まちづくり交通課				
2	1	8							
事業名			集落支援員事業						
事業区分		継続事業		政策 5 いきいきとした地域					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		⑤その他報償費		13,104	11,318	0	1,786	86.0%
	② 役 務 費		⑧その他保険料		104	96	0	8	92.0%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①~⑤の計) →		11,414	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし" 0 "を挿入 →		0	該当/真	100
	臨時会 補正				⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		11,414	該当/真	101
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			年度途中で集落支援員が減員となったことにより、予定額を下回ったため。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	11,414	0	0	0	0	11,414			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	希望する住民自治組織に集落支援員を配置し、集落点検や地域での課題解決に向けた話し合いの促進、空き家対策や定住対策などについて住民自治組織と連携した取組を推進する。集落支援員同士の情報交換も進め、各住民自治組織が掲げるまちづくりビジョンの実現に向けた活動を支援する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況 写真/図面等	集落支援員事業費計 11,413,800円 ○その他報償費 11,317,800円 集落支援員12人の活動に対する報償費 ○その他保険料 96,000円 集落支援員12人分の公民館総合補償制度掛金 8,000円×12人								
									
別添資料等		無							
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	集落支援員の活動成果として、地域（住民）と連携した空き家情報の掘り起こしや、移住希望者と地域の橋渡し、さらには移住後のサポートに積極的に取り組んでいただいており、地域コミュニティの新たな人材の定着につながっています。また、地域ニーズを把握して各集落に関わっていただくことで、地域課題の早期把握につながっています。								

令和 7 年度 三次市

一般会計 歳入歳出決算認定に係る事業別審査シート

NO, 3

(単位: 千円)

款	項	目							
2	1	8							
事業名			担当部局・課名 地域共創部 まちづくり交通課						
事業区分			元気な地域創造施設整備支援事業						
事業区分			継続事業 政策 5 いきいきとした地域						
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報償費		①委員等報酬		90	70	0	20	78.0%
	② 負担金, 補助及び交付金		⑥補助金 (建設単独)		10,000	9,460	0	540	95.0%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①~⑤の計) →		9,530	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/真	100
	臨時会 補正				⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		9,530	該当/真	101
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	9,530		0	0	0	9,400	130		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他		ふるさと創生基金繰入金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	全市的協働の取組となることを目標に、地域資源を活かしながら、元気な地域づくりなどによる地域活性化をめざし意欲的に取り組む市民が、地域の関係者等と連携した取組を進めるため、事業の創業や展開をする上で必要となる施設整備を支援する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況 写真/図面等	元気な地域創造施設整備支援事業費計 9,530,000円 ○報償費 70,000円(30,000円×1名、20,000円×2名) ○負担金, 補助及び交付金 9,460,000円 施設整備: 商品販売店・加工室・従業員休憩室・トイレ・浄化槽・駐車場・広場・転落防止フェンス 総事業費: 24,970千円(補助対象事業費: 18,920千円) 【事業活用団体】 株式会社 福田農場 【事業名】 自らの生産米を活用した米粉パン及びおにぎりの加工販売による雇用拡大、集落との連携による賑わい創出事業(和知町) 【事業目的】 地域資源(地元産品)を活用した商品開発を行う地域性の高い施設整備し、地域産業の活性化と地元雇用の拡大を図る。								
	別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	地域循環型の取組 (農産物の生産～加工～販売と雇用創出) として一つの事例となり、今後は自社生産品だけでなく、全市的な異業種産品との連携による商品開発を進められる計画であり、地域資源を活用した事業として、今後の地域活性化が期待されます。また、新規雇用の拡大 (従業員7人増) による地域の雇用創出に大きく寄与した事業となりました。								

まいほうむ
4月19日にオープンした米豊霧の外観

款	項	目						
2	1	8	担当部局・課名	地域共創部 まちづくり交通課				
事業名			協働のまちづくり支援事業					
事業区分			継続事業					
			政策 5 いきいきとした地域					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金, 補助及び交付金	⑤補助金(補助費)	6,000	4,174	0	1,826	70.0%
	②							
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) →		4,174	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	100	
	臨時会 補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 →		4,174	該当/頁	101	
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)		団体からの補助申請額が見込みを下回ったため。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	4,174	0	0	0	0	4,174		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	人口減少・少子高齢化が進む中で、住民自治組織や市民活動団体等が行う地域課題の解決や地域資源を活用した地域住民の主体的な活動を支援することで、持続可能なまちづくりの推進を図る。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況 写真/図面等	協働のまちづくり支援事業費計 4,174,000円 ○負担金, 補助及び交付金 4,174,000円 【実施件数等】 (1) 住民自治組織:4団体 交付額3,353,000円 ① 栗屋町まちづくり協議会「栗屋町コミュニティ活動グラウンド再生事業」2,000,000円 ② 三良坂町自治振興区連絡協議会「三良坂・灰塚地域資源活用推進事業」800,000円 ③ 河内まちづくり連合会「河内小学校と地域の歴史継承事業による関係人口の拡大」440,000円 ④ 八次地区連合自治会「地域資源活用事業(岩屋寺)」113,000円 (2) その他団体:4団体 交付額821,000円 ① みわ山川草木活性委員会「特別天然記念物オオサンショウウオの保護観察活動」265,000円 ② NEO PROJECT「100年三次」シンポジウム」268,000円 ③ 安田自治連合会「旧三次市立安田小学校グラウンド整備によるイベント事業の活性化」154,000円 ④ アル日モリノナカLab.「ヤモノナカフェ」134,000円							
	 「三良坂・灰塚地域資源活用推進事業」 「河内小学校と地域の歴史継承による関係人口の拡大」 「ヤモノナカフェ」							
別添資料等	無							
	(事業一覧等)							
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	地域資源を活用した魅力向上や地域コミュニティの活性化に向けた取組が行われました。環境整備事業では、住民が交流できる場の整備により、地域活動の活性化が図られました。また、地域の歴史や文化、自然環境を活用した取組みでは、地域の魅力を再認識する機会が創出されるとともに、郷土愛の醸成や地域内外への情報発信につながりました。さらに、イベントやシンポジウム等の開催により、多様な世代や関係者の交流が促進され、新たな連携や関係人口の拡大にも寄与しました。その他、自然環境の保全活動や地域資源を活かしたまちづくりなど、各団体が事業目的に沿った地域づくりに寄与されました。							

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部 まちづくり交通課				
2	1	8							
事業名			地域共創まちづくり支援事業						
事業区分			新規事業		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		② 講師謝礼		1,000	1,000	0	0	100.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①～⑤の計) →			1,000	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	100	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			1,000	該当/頁	101	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	1,000		0	0	0	0	1,000		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	自治活動支援においては「担い手の育成・確保」という共通の課題解決に向け、「対話」を基本とした取組を進める必要があると考えている。そのため、これまでのやり方を点検するとともに新たな仕組みづくりについて模索しながら、今後のまちづくりに向けた一助とするため外部講師等を招聘し、その取組について研修を進める。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	地域まちづくり支援事業費計 1,000,000円 ○報償費 1,000,000円 【実績】 中山間地域における人口減少やコミュニティの担い手不足が加速する中、地域の持続可能性を高めるためには、従来の住民合意形成手法を見直し、多様な主体の参画と主体的・協働的な地域づくりを推進する必要がある。このため、対話を基盤とした住民による合意形成の技術習得および多世代による地域課題解決のマインド醸成を目的として、全4回の研修会を実施した。								
別添資料等	 1回目の研修会の様子  3回目の中学生を交えた研修会の様子								
無									
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	意見の集約から合意形成にいたるステップを体系的に習得したことで、参加者の中で客観的かつ実効性の高い会議運営手法が共有されました。また、中学生との対話実践を通じて、多様な層の意見を吸い上げる傾聴手法や多世代協働の有効性の認識につながりました。これら一連の研修を通じて、単に結論を急ぐ「討論」から相互の価値観を探索する「対話」へと住民の主体的な意識の醸成が図られたことで、参加者が手法や視点を各地域へ持ち帰り、担い手不足などの地域課題に対して主体的かつ柔軟に対応するための動機付けがなされ、地域住民と地元の児童・生徒との連携した取組や、地域の魅力を活かした事業実施に向けた話し合いを行うなど、新たな地域の特色を活かした取組につながり始めています。								

令和 7 年度 三次市

一般会計 歳入歳出決算認定に係る事業別審査シート

NO, 6

(単位:千円)

款	項	目							
2	1	8	担当部局・課名 地域共創部 まちづくり交通課						
事業名			旧安田小改修設計業務						
事業区分			新規事業		政策 2 安全で快適な生活環境				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 役 務 費		④手数料		36	36	0	0	100.0%
	② 委 託 料		④調査測量設計監理等委託料		1,951	1,400	0	551	72.0%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑤ (①~⑤の計) →		1,436	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	102
	臨時会 補正				⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		1,436	該当/頁	103
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	1,436		0	0	1,300	0	136		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	老朽化している安田コミュニティセンターの機能を旧安田小学校校舎1階へ移転するための改修工事を令和8年度に実施するにあたり、設計業務を行う。 安田地域のまちづくりの拠点として、旧安田小学校校舎を改修し、コミュニティセンター機能を移転することで、拠点性向上を図るとともに、さらなるまちづくり活動の拠点として活性化を推進する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況 写真/図面等	旧安田小改修設計業務計 1,435,530円 ○ 手数料 36,000円 ○ 委託料 1,399,530円 調査測量設計監理等委託料 施設概要:旧安田小学校校舎 RC造2階建1,270㎡ 昭和63年築 施設整備内容(令和8年度) ・校舎改修(消防法対応) ・トイレ改修(洋式化) ・各室整備(事務室、研修室、多目的スペース、調理室、実習室、小集会室(和室))								
									
	旧安田小学校校舎								
別添資料等	無								
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どのよ うな成果や効果をもた らしたのか	令和8年度工事予定の施設改修に係る実施設計を行い、全体スケジュールに沿って取り組んでいます。								

令和 7 年度 三次市

一般会計 歳入歳出決算認定に係る事業別審査シート

NO, 7

(単位:千円)

款	項	目						
2	1	8	担当部局・課名	地域共創部 まちづくり交通課				
事業名			まち・ゆめ基本条例検証					
事業区分		新規事業	政策2 安全で快適な生活環境					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		①委員等謝礼	281	195	0	86	69.0%
	② 需 用 費		①消耗品費	20	20	0	0	100.0%
	③ 役 務 費		①通信運搬費	16	3	0	13	19.0%
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		218	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	102	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		218	該当/頁	105	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	218	0	0	0	0	218		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	三次市まち・ゆめ基本条例は、第30条の規定により、4年を超えない期間ごとに、市民の参加を得て、まちづくりにふさわしいものであるか検証を行う。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況 写真/図面等	まち・ゆめ基本条例検証事業費計 217,302円 ○委員等謝礼 195,000円 検証委員7人の活動に対する謝礼(検証委員会3回、提言書提出、まちづくり作文表彰式) ○消耗品費 19,570円 ○通信運搬費 2,732円 検証委員7名に対する資料送付 <検証経過> 令和7年9月5日 第1回検証委員会(委員委嘱、概要説明、前回検証後の取組状況の検証など) 令和7年10月9日 第2回検証委員会(検証に向けた意見交換など) 令和7年11月13日 第3回検証委員会(意見書(案)について意見交換) 令和7年12月22日 市長へ意見書提出							
								
別添資料等	無							
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	検証委員会で出された意見を最大限尊重し、この条例が市民の道しるべとなり、住んでよかったと思えるようなまちづくりの活動につながっていくよう努め、「市民のしあわせをめざすまちづくり」を進めていきます。							

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部まちづくり交通課				
2	1	8							
事業名			みよし暮らし推進事業 (移住者支援)						
事業区分			継続事業		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		⑤その他報償費		2,520	2,520	0	0	100.0%
	② 旅 費		②普通旅費		310	307	0	3	99.0%
	③ 役 務 費		③広告料		947	946	0	1	100.0%
	④ 委 託 料		①業務委託料 (物件費)		1,000	999	0	1	100.0%
	⑤ 負担金、補助及び交付金		⑤補助金 (補助費)		17,747	16,665	0	1,082	94.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①～⑤の計) →			21,437	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	○ ⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →	568	該当/頁	106			
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			22,005	該当/頁	107	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			補助金の申請が見込みより少なかったため。						
歳入に関する項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	22,005				76	21,929			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他	協働のまちづくり事業助成金							
事業内容及びめざした目的 (具体的に)	移住希望者への相談対応、住まいの確保支援、補助金による定住支援、情報発信、移住体験・相談機会の提供を総合的に行うことで、本市への移住・定住の促進を図りました。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	みよし暮らし推進事業(移住者支援) 22,005,000円 ○報償費(その他の報償費)2,520,000円 ・移住コーディネーター報償費 2,520,000円(210千円×12ヶ月) ○旅費(普通旅費)306,650円 ・定住フェア等への出張旅費 306,650円 ○役務費(広告料)945,500円 ・移住定住等に関する広告等 945,500円 ○委託料(業務委託料(物件費))999,000円 ・ポータルサイトリニューアル及び移行作業 999,000円 ○補助及び交付金(補助金(補助費))16,665,000円 ・空き家バンク改修補助金(7件)4,800,000円 ・Uターン者実家等改修補助金(15件)5,965,000円 ・移住者住宅取得奨励金(34件) 5,100,000円 ・移住コーディネーター活動補助金 800,000円 ○その他経費 567,500円 ・通信運搬費 19,800円 ・手数料 1,000円 ・消耗品費 35,700円 ・使用料及び賃借料 132,000円 ・負担金 379,000円								
別添資料等	無								
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	令和7年度は、相談対応や情報発信、支援制度 (バンク制度・Uターン補助金・住宅取得奨励金) により、67件、162人の移住につながった。特に、移住者住宅取得奨励金は34件、88人で前年比10件、21人増の申請があり、本市で住宅を取得して定住する移住者を支援する制度として一定の成果がみられた。								



移住相談会の様子



リニューアル後のポータルサイトトップページ

款	項	目						
2	1	8	担当部局・課名	地域共創部・まちづくり交通課				
事業名			みよしファンクラブ事業 (三次市ふるさとサポーター事業)					
事業区分			継続事業					
			政策 5 いきいきとした地域					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 旅 費		普通旅費	205	203	0	2	99.0%
	② 需 用 費		印刷製本費	75	0	0	75	0.0%
	③ 役 務 費		通信運搬費	110	55	0	55	50.0%
	④ 委 託 料		業務委託料	330	114	0	216	35.0%
	⑤ 使用料及び賃借料		会場借上料	146	4	0	142	3.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①～⑤の計) →		376	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		144	該当/頁	106	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		520	該当/頁	107	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和7年度	520						520	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及びめざした目的 (具体的に)	従来の「三次市ふるさとサポーター制度」を、三次市が好きな人、三次市を応援したい人、市内の人や事業者を応援したい人がつながる会員型の交流制度にリニューアル。市内外の人がつながる仕組みを構築し、まちづくり活動や地域活性化につなげるため、継続的に会員拡大を図るとともに、関係人口を拡大するためファンクラブ事業を実施する。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	みよしファンクラブ事業(三次市ふるさとサポーター事業)費 計 519,079円 ○旅費(普通旅費)202,840円 ・イベント開催のための出張旅費 202,840円(4回) ○役務費(通信運搬費)55,000円 ・会員バッジ等発送料 55,000円 ○業務委託料(物件費)114,000円 ・シール・卓上のぼり作成業務 28,000円 ・みよしのよしみファンクラブイベント開催業務 86,000円 ○使用料及び賃借料(会場借上料)4,000円 ・推し活体験ツアー2025 会場借上料 4,000円 ○その他経費(報償費、消耗品費)143,239円 ・イベント出演謝礼(2/28)100,000円 ・イベントに必要な消耗品費 43,239円							
	 SHIBUYA QWSでの交流イベント  miyoby Dotsでの芸備線利用促進の交流イベント							
別添資料等	無							
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	令和6年度に制度を立ち上げて会員基盤をつくり、令和7年度で交流・体験・情報発信を進め、関係人口の質を高める取組に展開し、1,440人の会員登録 (前年度+222名) につながりました。これらの実績を踏まえ、会報や会員証バッジの制作、SNS等による情報発信、首都圏等での交流会、推し活体験イベントなどを通じて、会員が三次市を訪れ、楽しみ、応援するきっかけづくりを積極的に進めました。 今後は、さらなる会員数の拡大に加え、会員の来訪や地域活動への参加、市内事業者との交流など、具体的な地域活性化につながる取組へ発展させていく必要があります。							

令和 7 年度 三次市

一般会計 歳入歳出決算認定に係る事業別審査シート

NO, 10

(単位：千円)

款	項	目							
2	1	8	担当部局・課名		地域共創部・まちづくり交通課				
事業名			縁つなぐ出会い創出支援事業						
事業区分		継続事業		政策 5 いきいきとした地域					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金、補助及び交付金	補助金（補助費）		1,200	39	0	1,161	3.0%
	②				0	0	0	0	
	③				0	0	0	0	
	④				0	0	0	0	
	⑤				0	0	0	0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →			39	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当／頁	106	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →			39	該当／頁	107	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）		想定より申請件数が少なかったため。							
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	39					39			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	少子化の一因である未婚化・晩婚化への取組として、結婚を希望する独身男女に出会いや交流の場を提供する団体に対し、イベント開催経費の一部を補助する事業です。地域団体等による多様な出会いの機会づくりを支援することで、結婚を希望する人を後押しし、定住促進や地域の活性化につなげることを目的としています。								
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	縁つなぐ出会い創出支援事業費計 39,000円 ○補助金(補助費) ・補助金交付団体: Akfour R7.5.10実施 補助金10,000円 参加者12名(マッチング不明) R7.10.26実施 補助金29,000円 参加者11名(マッチング2組)								
	別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	結婚を希望する独身者に出会いや交流の機会を提供するため、地域団体等が実施するイベント開催経費の一部を補助し、市内での出会いの場づくりを支援しました。本事業により、地域団体等が主体となった交流機会の創出につながりましたが、補助件数が例年より少ない結果となりました。（令和6年度：4団体、申請件数5件）マッチングアプリや結婚相談所の利用が主流になっている昨今、民間・地域団体が実施される婚活事業への参加者も減少する中ではありますが、多様な出会いの場の一つとして継続的に支援していく必要があります。								

款	項	目							
2	1	8	担当部局・課名		地域共創部・まちづくり交通課				
事業名			地域おこし協力隊事業						
事業区分		継続事業		政策 5 いきいきとした地域					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%	
	①	報償費	講師謝礼	200	81	0	119	41.0%	
	②	報償費	その他報償費	19,572	19,572	0	0	100.0%	
	③	旅費	普通旅費	16	4	0	12	25.0%	
	④	使用料及び賃借料	会場借上料	35	0	0	35	0.0%	
	⑤	負担金、補助及び交付金	補助金(補助費)	12,200	12,200	0	0	100.0%	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①～⑤の計) →			31,857	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	106
	臨時会 補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 →			31,857	該当/頁	107	
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	31,857						31,857		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	人口減少・少子高齢化が進む本市において、都市部などの地域外から地域おこし協力隊員を募集することで、地域活動や農業などへの従事を通じて、地域住民とのつながりを深め、地域活性化や地域課題の解決などに取り組み、最終的に定住・定着につなげていくことを目的としています。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	地域おこし協力隊事業費計 31,852,080円 【R8.3月議会/減額補正】 ▲2,796千円(当初予算額 22,368千円) ▲1,600千円(当初予算額 13,800千円) ○報償費(講師謝礼)80,080円 ・三次市地域おこし協力隊交流会講師謝礼 80,080円 ○報償費(その他報償費)19,572,000円 ・三次市地域おこし協力隊 報償費 19,572,000円(233,000円×7名×12月) ○負担金、補助及び交付金(補助金(補助費))12,200,000円 ・活動補助金 11,200,000円(1,600,000円×7名) ・地域おこし協力隊起業支援補助金 1,000,000円(1名活用)								
	別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	本事業を実施したことにより、都市部等から受け入れた地域おこし協力隊員が、農業研修、地域活動、スポーツ振興などの分野で活動し、地域課題の解決や地域活性化に取り組むことができました。隊員が地域や関係団体と連携することで、農業の担い手確保、地域活動の活性化、活動報告会の開催など交流機会の創出につながるとともに、任期終了後の就農など、定住・定着に向けた成果も見られました。令和7年度末時点で任期を終了した隊員26人のうち19人が定住し、定住率は約73%となっています。起業支援補助金を活用した隊員については11人全員が定住しており、任期終了後の起業支援が隊員の定住・定着に大きく寄与しているものと評価しています。令和7年度末で2名の隊員が任期を終了し、2名とも市内(栗屋・神杉地区)での就農に繋がっている。								

款	項	目						
2	1	8	担当部局・課名		地域共創部・まちづくり交通課			
事業名			移住体験・空き家見学現地ツアー事業					
事業区分		継続事業		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	報 償 費	講師謝礼	49	19	0	30	39.0%
	②	需 用 費	消耗品費	30	20	0	10	67.0%
	③	役 務 費	通信運搬費	10	0	0	10	0.0%
	④	役 務 費	広告費	200	200	0	0	100.0%
	⑤	使用料及び賃借料	自動車借上料	150	58	0	92	39.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①～⑤の計) →		297	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当ノ頁	106	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		297	該当ノ頁	107	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	297					297		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	本市の移住支援制度を活用した移住の半数近くが県内からとなっていることから、県内(特に広島市内)の移住を検討している方を対象に、空き家情報バンク登録物件の見学、先輩移住者との交流、農家民宿での昼食やいなか体験などを通じて、三次での暮らしを実際に体感してもらう事業です。移住希望者が住まいや地域の雰囲気、子育て環境、移住後の暮らしを具体的にイメージできる機会を提供し、移住・定住につなげることを目的としています。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状 況写真／図面等	移住体験・空き家見学現地ツアー事業費計 295,470円 ○報償費(講師謝礼) 18,333円 ・現地ツアーにおける先輩移住者への謝礼 18,333円 ○需用費(消耗品費) 19,475円 ・ツアー参加者飲料水等 2,680円 ○役務費(広告費) 200,000円 ・広告掲載費 200,000円 ○使用料及び賃借料(自動車借上料) 57,662円 ・移住体験ツアー送迎業務 57,662円							
	 							
別添資料等	無							
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	令和7年度は、三次市への移住を検討している方を対象に、「おやこで移住体験ツアー」を開催し、三次小学校新校舎の見学、先輩移住者との交流、農家民宿での昼食・いなか体験、空き家情報バンク登録物件の見学などを通じて、三次での子育て環境や地域での暮らし、住まいを具体的にイメージする機会を提供できました。結果として、昨年度に続き移住につながっており、今後も継続した取組として実施していく必要があります。(令和6年度1世帯1人、令和7年度1世帯1人)							

款	項	目						
2	1	8	担当部局・課名		地域共創部・まちづくり交通課			
事業名			みよし暮らしフェア（出張移住相談会）事業					
事業区分		継続事業		政策5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	報 償 費	その他報償費	98	91	0	7	93.0%
	②	旅費	普通旅費	8	5	0	3	63.0%
	③	需用費	消耗品費	30	13	0	17	43.0%
	④	需用費	印刷製本費	80	0	0	80	0.0%
	⑤	委託料	業務委託料（物件費）	100	0	0	100	0.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →			109	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当ノ頁	106
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →			109	該当ノ頁	107
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	109					109		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	県北出身者や三次市に関心のある人が比較的多い広島市内の商業施設等において、三次の暮らしや移住支援制度、空き家バンク、子育て環境等を紹介し、移住相談を行う事業です。市外在住者に対して三次で暮らす魅力を直接発信し、移住希望者の掘り起こしや継続相談につなげることで、Uターン・Iターンによる移住・定住の促進をめざします。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状 況写真／図面等	みよし暮らしフェア(出張移住相談会)事業費 計107,507円 ○報償費(その他報償費)90,555円 ・イベント出演謝礼(12/13みよし暮らしフェア事業)90,555円 ○旅費(普通旅費)4,400円 ・イベント開催のための出張旅費 4,400円(4人分) ○需用費(消耗品費)12,552円 ・イベントに必要な消耗品費12,552円							
								
別添資料等	アルパーク(広島市西区)で実施したみよし暮らしフェアの様子							
無								
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	令和7年度は、市が移住施策のターゲットとする広島市内において、出張移住相談会を実施し、三次の暮らしや魅力を広島市内在住者に直接発信することができました。一方で、市の認知拡大や魅力発信には一定の成果がありましたが、来場のきっかけが「たまたま通りかかった」方が多く、事前周知、移住相談へつなげる導線づくりに課題が残りました。今後は、三次に関心がある方や、移住を考えている方に届くような周知と、この相談会を定着させイベントで得た接点を継続的な移住相談につなげていく必要があります。							

款	項	目						
2	1	8	担当部局・課名	地域共創部・まちづくり交通課				
事業名			移住支援金					
事業区分			継続事業					
			政策 5 いきいきとした地域					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金, 補助及び交付金		補助金 (補助費)	0	0	0	0	
	②			0	0	0	0	
	③			0	0	0	0	
	④			0	0	0	0	
	⑤			0	0	0	0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①～⑤の計) →			0	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	106
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			0	該当/頁	107
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			申請がなかったこと、広島県の予算が想定より早くなかったため。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和7年度	0						0	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金		広島県移住・マッチング支援事業補助金					
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	三次市移住支援金は、東京圏から本市へ移住し、就業・テレワーク・起業等の要件を満たす方に対して、広島県と連携して支援金を交付する事業です。東京圏から本市への移住・定住を促進するとともに、市内中小企業等における人手不足の解消や地域の担い手確保につなげることを目的としています。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	移住支援金 計 0円 ・相談は1件あったが、対象要件が合致せず、申請には至らなかった。 【R8.3月議会/減額補正】▲6,000千円(当初予算額 6,000千円) 							
別添資料等	無							
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	市ホームページ等を通じて制度周知を行いました。申請までつながりませんでした。本制度は、東京圏から地方への人の流れを本市への移住・定住につなげるための支援制度であり、対象となる移住希望者に対して的確に案内できるよう、制度周知を継続していく必要があります。一方で、対象要件を一部変更したものの、対象者が東京23区在住者又は東京圏から東京23区へ通勤していた方に限られることに加え、就業、テレワーク、起業、関係人口などの要件を満たす必要があることから、対象者が限定的であることが課題です。							

款	項	目							
2	1	8	担当部局・課名 地域共創部 まちづくり交通課						
事業名			生活交通確保対策事業						
事業区分			継続事業		政策 2 安全で快適な生活環境				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委 託 料		①業務委託料(物件費)		55,268	55,125	0	143	100.0%
	② 負担金, 補助及び交付金		①負担金(補助費)		19,996	19,533	0	463	98.0%
	③ 負担金, 補助及び交付金		⑤補助金(補助費)		240,196	236,073	0	4,123	98.0%
	④ 扶 助 費		①扶助費		2,248	1,151	0	1,097	51.0%
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥(①~⑤の計) →		311,882	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正 ○		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/真	106
	臨時会 補正				⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 →		311,882	該当/真	109
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)			③路線バスに係る欠損補助額が補正予算要求時の見込みより減少したため ④相乗りタクシー助成券の交付金額(交付枚数)に対して使用金額(使用枚数)が少なかったため						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	311,882			4,557			307,325		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		広島県市町等運行路線再編促進費補助金						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地域公共交通計画に基づき、通勤や通院、通学、買い物といった市民の日常生活に係る移動手段を維持・確保するため、路線バスに対する運行支援や市民バスの運行業務委託を行うほか、相乗りタクシー事業による公共交通空白地の解消を図る。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況 写真/図面等	生活交通確保対策事業費計 311,879,733円 ○委託料(①業務委託料(物件費))55,124,278円 ・市民バス運行業務委託料 55,124,278円 ・三次市民バスの運行業務委託料(各路線の利用者数:君田町線2,762人、布野町線1,197人、作木町線832人、吉舎町線1,534人、三和町線847人、甲奴町線968人) ○負担金, 補助及び交付金(①負担金(補助費))19,532,894円 ・三次市地域公共交通会議負担金 8,629,894円 (※自家用有償運送(さくぎニコニコ便)の運行支援 2,088,856円を含む) ・三江線沿線地域公共交通活性化協議会負担金 200,000円 ・三江線代替バス(式敷三次線)運行負担金 10,703,000円 ○負担金, 補助及び交付金(⑤補助金(補助費))236,072,361円 生活交通維持対策補助金 ・路線バス(備北交通、中国バス、十番交通、君田交通)の運行維持に係る補助金 230,143,000円 ・ふれあいタクシーみらさか(三次広域商工会)の運行維持に係る補助金 5,929,361円(利用者数1,387人) ○扶助費(①扶助費)1,150,200円 ・相乗りタクシー事業助成費 1,150,200円(申請者数48人)								
	三次市民バス 三次市相乗りタクシー利用助成券 三次市地域公共交通計画(第2期)								
別添資料等	無								
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	鉄道、高速バス、路線バス等の広域幹線交通と、市街地循環バス、三次市民バス、ふれあいタクシーみらさか等の地域内交通の組み合わせにより、通勤・通学、通院、買い物等といった市民の日常生活に係る移動を支えました。三次市民バス作木町線ではデマンド化といった地域の要望に沿った見直しを図り利便性向上につなげました。また、公共交通網が不十分な地域への対策として、継続して三次市相乗りタクシー事業やNPO法人が運行する自家用有償旅客運送への支援を実施し、公共交通空白地の解消を図りました。田幸地区の地域内交通の実証事業に係る支援を実施しました。令和6年度に引き続き、高齢者福祉課と連携し、介護支援専門員向けの研修会において、三次市相乗りタクシー等の市の支援事業や三次市民バスの周知に努め利用促進を図りました。								

款	項	目						
2	1	8	担当部局・課名	地域共創部 まちづくり交通課				
事業名			AI活用型オンデマンドバス事業					
事業区分		新規事業	政策2 安全で快適な生活環境					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	委託料	①業務委託料(物件費)	35,215	35,215	0	0	100.0%
	②							
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) →		35,215	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	108	
	臨時会 補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 →		35,215	該当/頁	109	
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	35,215	17,521	7,249		10,237	208		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金	新しい地方経済・生活環境創生交付金(デジタル実装型)						
	県支出金	デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業補助金、広島県運行形態転換支援補助金						
	負担金等その他	企業版ふるさと納税寄附金、運賃収入						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	本市の中心市街地では市街地循環バスが運行されているが、定時定路線且つ運行ルートが一方方向の運行形態のため、待ち時間や乗車時間が長く、停留所までの距離が遠いという課題がある。AI活用型オンデマンドバスを導入することで、待ち時間や乗車時間の短縮、停留所までの移動負担の軽減を図ることにより、地域住民の移動に対する利便性の向上、また、観光客にも便利な移動手段を提供することで地域経済の活性化を図る。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況 写真/図面等	AI活用型オンデマンドバス事業費計 35,214,192円 ○委託料(①業務委託料(物件費))35,214,192円 ・三次市AIオンデマンドバス導入・運行支援業務委託料 29,389,230円 ・三次市AIオンデマンドバス運行業務委託料 4,616,062円 ・三次市AIオンデマンドバス乗降ポイントサイン制作・設置業務委託料 1,208,900円 <利用状況(集計期間:令和7年12月1日~令和8年3月31日)> ○乗客数 1,028人(12月 245人、1月 208人、2月 255人、3月 320人) ○登録者数 580人(11月132人、12月 178人、1月 97人、2月 79人、3月 94人) ○年代別利用者割合 ~10代 28.2%、20代 1.2%、30代 4.9%、40代 2.0%、50代 9.9%、60代 8.7%、70代 16.0%、80代 24.8%、90代~ 4.4% ○予約手段別利用者割合 電話 49.9%、アプリ 25.7%、LINE 24.4% ○決済手段別利用者割合 現金 89.3%、クレジットカード 10.7%							
	別添資料等 無 (事業一覧等)							
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	  A オンデマンドバス「のるーと三次」 「のるーと三次」利用ガイド 本市の都市拠点の活性化に資する移動手段として、都市サービスを提供する施設(市役所、医療期間、大型商業施設、市民ホール等)や交通結節点である三次駅が位置する中心市街地において、居住者や周辺地域・市外からの来街者等が利用できるオンデマンド・区域運行型の乗合バスであるAIオンデマンドバス「のるーと三次」を令和7年12月1日に導入した。利用者数のKPI(6,900人)には達しなかったものの、従前の市街地循環バス「くるるん」の昨年度同時期の利用者数(4,428人)に対して、令和7年12月1日から令和8年3月31日までの実証運行期間中の利用者数(5,123人※「くるるん」と「のるーと三次」の合算値)が上回っていることから、移動に対する利便性の向上が図られた。							

令和 7 年度 三次市

一般会計 歳入歳出決算認定に係る事業別審査シート

NO, 17

(単位:千円)

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部 まちづくり交通課			
2	1	8						
事業名			高齢者運転免許自主返納支援事業					
事業区分			継続事業					
			政策2 安全で快適な生活環境					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 需用費		④印刷製本費	110	0	0	110	0.0%
	② 役務費		①通信運搬費	100	100	0	0	100.0%
	③ 扶助費		①扶助費	1,640	1,257	0	383	77.0%
	④						#VALUE!	
	⑤						#VALUE!	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑤(①~⑤の計) ➡		1,357	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡		0	該当/真	106	
	臨時会補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 ➡		1,357	該当/真	109	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和7年度	1,357		0	0	0	0	1,357	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			高齢ドライバーの交通事故防止と公共交通機関の利用促進を図るため、運転免許を自主返納した65歳以上の高齢者に対し、タクシー利用助成券など公共交通利用促進に係る支援を実施する。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況 写真/図面等			高齢者運転免許自主返納支援事業費計 1,356,870円 ○扶助費(①扶助費)1,256,700円 ■高齢者運転免許自主返納支援事業助成額 1,256,700円(令和7年度中の助成金交付額) ①市民バス等無料利用者証 9,200円 ②広島県交通ICカード 346,500円(モビリーデイズ10,500円×33件=346,500円) ③市内タクシー利用助成券 901,000円(500円×1,802枚=901,000円) ■高齢者運転免許自主返納支援事業申請件数 189件(令和7年度中に申請のあった数) ①市民バス等無料利用者証(2年度間有効) 3件 ②広島県交通ICカード(1万円分、有効期限なし)33件 ③市内タクシー利用助成券(1万円分、3年度間有効)153件 ○役務費(①通信運搬費)100,170円 ・タクシー利用助成券等発送に係る経費 100,170円					
別添資料等								
無								
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			本事業は、三次警察署と連携し、高齢者が運転免許証を自主的に返納するためのきっかけとする事業として位置づけており、令和7年度は189件の免許返納の申請があり、高齢ドライバーの事故防止と公共交通の利用促進を図ることができた。					

款	項	目							
2	1	8	担当部局・課名 地域共創部 まちづくり交通課						
事業名			三次いきいき安全ドライブ運動						
事業区分			新規事業		政策 2 安全で快適な生活環境				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 需用費		①消耗品費		103	24	0	79	23.0%
	② 役 務 費		①通信運搬費		310	24	0	286	8.0%
	③ 委 託 料		①業務委託料(物件費)		150	150	0	0	100.0%
	④ 負担金, 補助及び交付金		①負担金(補助費)		500	500	0	0	100.0%
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑤(①~⑤の計) →			698	決算に関する説明書
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁 106
	臨時会 補正				⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 →			698	該当/頁 109
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	698	0	0	0	0	698			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	高齢ドライバーの交通事故予防と運転寿命の延伸を図るため65歳以上の高齢者に対し、テレマティクスタグ(車の挙動を測定する車載器)を車に取り付け、自身の運転を客観的に分析をし、運転能力の把握と安全運転意識の醸成を図る。さらに集めたデータをもとに交通安全マップを作成する。 安全運転意識の向上を図り、交通事故死傷者ゼロをめざす。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況 写真/図面等	三次いきいき安全ドライブ運動事業費 計697,797円 ○消耗品費 24,037円 ○通信運搬費 23,760円 参加者への測定結果通知等の郵送料 ○委託料(①業務委託料(物件費))150,000円 ・通信機器設置業務委託料 150,000円 ○負担金、補助及び交付金(①負担金(補助費))500,000円 ・「健康×安全ドライビングフェスタ」に係る負担金 500,000円								
									
別添資料等	令和8年2月28日に開催した「健康×安全ドライビングフェスタ」の様子								
無									
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どのよ うな成果や効果をもた らしたのか	194名の参加により、今年度も市内の危険ポイントなど多くのデータ収集につながった。また新たな取組みとして実施した「ドラミル」により収集したデータの質が向上が図られた。 交通安全マップは市のホームページで公開しており、いつでも確認できるほか、免許試験場等でも活用いただいている。 令和8年2月に開催した「健康×安全ドライビングフェスタ」には、150名を超える参加者があり、安全運転の意識醸成につながりました。								

款	項	目						
2	1	8	担当部局・課名 地域共創部 まちづくり交通課					
事業名			JR芸備線・福塩線利用促進事業					
事業区分			継続事業		政策 2 安全で快適な生活環境			
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		①業務委託料(物件費)	1,875	990	0	885	53.0%
	② 負担金, 補助及び交付金		①負担金(補助費)	825	825	0	0	100.0%
	③ 負担金, 補助及び交付金		⑤補助金(補助費)	15,000	14,863	0	137	99.0%
	④					0		
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	○	⑥(①~⑤の計) →		16,678	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/真	106
	臨時会 補正			⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 →		16,678	該当/真	109
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	16,678	0	495	0	0	16,183		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金	鉄道NWを活かした中山間地域の魅力向上事業費補助金						
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地域間幹線交通であるJR芸備線・福塩線について、利用者が減少傾向にあることから、沿線自治体と連携し、その利用拡大と利用促進に向けた事業を行い、路線の維持と沿線地域の活性化を図る。 また、鉄道の利用促進を中心に、鉄道以外の公共交通等を含めた総合的な利用促進事業を実施する。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況 写真/図面等	JR芸備線・福塩線利用促進事業費計 16,677,200円 ○委託料(①業務委託料(物件費))990,000円 ・芸備線利用促進事業 990,000円 三次ツナガリ人口拡大プロジェクト「広島を中心に三次愛を叫ぶ! -GEIBI LINE PARTY-」 参加者44人 ○負担金, 補助及び交付金(①負担金(補助費))824,200円 ・芸備線対策協議会負担金 605,200円 芸備線沿線自治体(広島市、安芸高田市、三次市、庄原市)で構成する協議会による芸備線の利用促進策の実施に係る負担金 ・福塩線対策協議会負担金 219,000円 福塩線沿線自治体(福山市、府中市、世羅町、三次市)で構成する協議会による福塩線の利用促進策の実施に係る負担金 ○負担金, 補助及び交付金(⑤補助金(補助費))14,863,000円 ・三次市地域間幹線公共交通機関利用促進事業補助金 14,863,000円 「バス&レールどっちも割きっぷ」販売支援:年間販売実績:31,032枚 市内販売数23,547枚(75.9%)、広島市内販売数7,485枚(24.1%)							
								
別添資料等	無							
(事業一覧等)	グッドデザイン受賞(どっちも割きっぷ)							
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	さまざまなイベントを通じて、鉄道に興味を持っていただき、芸備線や福塩線の沿線活性化を図ることができました。 また、「バス&レールどっちも割きっぷ」の販売は、事業開始年度から利用数は大きく増加しており、自家用車から公共交通に変わって利用した事例も見られるなど一定の効果が得られています。(販売実績: R6年度の19,589件からR7年度31,032件、約1.6倍) 令和7年10月に「グッドデザイン賞」を受賞し、注目度を高めることができました。 芸備線の三次駅ー下深川駅間の平均通過人員は、R4年988人、R5年998人、R6年1,001人、R7年1,032人と増加傾向にあります。							

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部 まちづくり交通課			
2	1	8						
事業名			もののけミュージアム湯本豪一名誉館長寄贈資料受入事業					
事業区分			新規事業		政策 4 豊かな心と生きがい			
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	報 償 費	講師謝礼	441	441	0	0	100.0%
	②	旅 費	普通旅費	115	54	0	61	47.0%
	③	需 用 費	消耗品費	305	245	0	60	80.0%
	④	委 託 料	業務委託料(物件費)	6,057	5,982	0	75	99.0%
	⑤	備品購入費	その他備品購入費	240	240	0	0	100.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑤(①~⑤の計) →		6,962	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/真	110	
	臨時会 補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 →		6,962	該当/真	113	
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	6,962	0	0	0	6,900	62		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他	ふるさと創生基金繰入金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	開館10周年(令和11年4月)に向け湯本豪一名誉館長から新たに資料の寄付について申し出をいただいた絵巻や軸、錦絵など約700点の資料の受入れに係る事業。 既存資料と合わせ、多くの方に喜んでいただけるよう開館10周年に向け調査・研究を進める。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況 写真/図面等	もののけミュージアム湯本豪一名誉館長寄贈資料受入事業 計6,961,539円 ○ 講師謝礼 441,394円 資料輸送に伴う作業立会に係る湯本先生への講師謝礼 ○ 普通旅費 54,320円 受入れ資料の調査等作成、搬出入立会に係る職員旅費 ○ 消耗品費 244,530円 収蔵整理用消耗品購入代 ○ 委託料(物件費) 5,981,583円 新規資料輸送業務委託料(受入資料のチェック、梱包、輸送等)5,466,783円 新規資料殺虫・殺菌処理業務委託料 514,800円 ○ 備品購入費 239,712円 収蔵用ラック購入代							
	  							
別添資料等	新規寄贈資料贈呈式 新規寄贈資料お披露目展							
無								
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	今回の受け入れは開館時に次ぐ大規模なもので、所蔵資料の総数は約5,500点となった。受け入れ資料のジャンルは、絵巻、錦絵、装身具、玩具など、多岐にわたり、特に、「是害房絵巻」は湯本豪一記念日本妖怪博物館では初収蔵となる中世期の絵巻で、大変貴重な資料となる。館蔵資料のさらなる充実により、展示の魅力や話題性の向上、また妖怪研究の進展が期待される。							

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部共生社会推進課				
2	1	9							
事業名			高校生国際理解支援事業						
事業区分			継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金、補助及び交付金	⑤	補助金（補助費）	300	219	0	81	73.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） → 219				決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 → 0				該当/頁	114
	臨時会 補正			⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 → 219				該当/頁	117
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	219		0	0	0	0	219		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			市内3校の高等学校を対象に国際交流活動を通して語学力の向上や異文化への理解を育み、国際感覚豊かな人材を育成することを目的として、市内高等学校において実施される国際交流活動に対して補助金を交付する。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等			【高校生国際理解推進事業補助金】 ○負担金、補助及び交付金（⑤補助金（補助費）） 218,323円 ・提携校との交流 185,323円 提携校（ニューヨーク州The Harvey School）から生徒が来校し、ホームステイをしながら、日本の生活や文化を体験し、県立三次中学校・高等学校の生徒との交流活動や三次市内の小学校との交流を行いました。 （参加人数） 県立三次中学校・高等学校全生徒 775名 ・おもてなしプラン 33,000円 日彰館高等学校の生徒が、広島大学の留学生に、英語を使った活動や地域・日本文化の紹介、吉舎町歩きガイドツアーを通して、おもてなしを行いました。 （参加人数） 日彰館高等学校全生徒 188名  提携校との交流(三次高等学校) 広島大学留学生との交流（日彰館高等学校）						
別添資料等 無 （事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			各学校からは、「海外の生徒との交流により、異文化理解を深めることができた。」「行事の目標を『多様性を認め合い、自分と他者の心理的距離感を縮めようとする』とし、対面で参加した生徒のほぼ全員が目標を達成することができた。」「吉舎町内を案内をすることにより、生徒が吉舎町に愛着と誇りを持つ機会となった」などの報告があり、高校生の語学力向上や異文化理解に一定の効果がありません。						

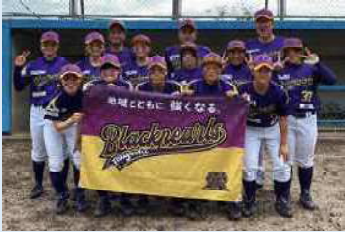
款	項	目						
2	1	9	担当部局・課名	地域共創部共生社会推進課				
事業名			被爆80周年平和記念事業（国際交流団体活動支援事業）（アメリカス市）					
事業区分			継続事業（拡充） 政策 1 健康で安心感のある暮らし					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 旅 費		①費用弁償	826	786	0	40	95.0%
	② 旅 費		②普通旅費	2,554	2,374	0	180	93.0%
	③ 負担金、補助及び交付金		④負担金（その他）	1,726	782	0	944	45.0%
	④ 負担金、補助及び交付金		⑤補助金（補助費）	3,910	3,415	0	495	87.0%
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →		7,357	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正 ○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →		333	該当 / 頁 114		
	臨時会 補正		⑧（⑥ + ⑦）事業決算合計額 →		7,690	該当 / 頁 117		
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	7,690	0	0	0	2,971	4,719		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他	国際平和交流基金利子						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)		被爆80周年の節目において、原爆や戦争の悲惨さや平和の尊さを改めて考えていく機会を提供し、次世代へ継承するための啓発事業などを実施する。また、故ジミー・カーター氏との交流で築いた縁を活かし、持続可能な国際交流の推進を支援する。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表 / 状況写真 / 図面等		【国際交流団体活動支援事業(アメリカス市)】 ○旅費(費用弁償) 785,465円 ・アメリカス市公式訪問(1名分) 785,465円 ○旅費(普通旅費) 2,373,595円 ・アメリカス市公式訪問(3名分) 2,373,595円 ○負担金、補助及び交付金(負担金(その他))781,465円 ・アメリカス市派遣引率(1名分) 781,465円 ○負担金、補助及び交付金(補助金(補助費))3,415,000円 ・三次国際交流協会補助金(アメリカス市受入・派遣分) 受入分 444,000円 派遣分 2,971,000円 ※国際平和交流基金利子 2,971,000円(財源振替)						
別添資料等		  アメリカス市公式訪問						
無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか		令和7年度は被爆80周年の節目の年であったことから、故ジミー・カーター氏との交流から始まったアメリカス市との交流において、アメリカス市訪問時も平和学習を行い、改めて平和の尊さを考える機会となり、市内の子どもを対象とした国際交流及び平和を担う人材の育成につながりました。						

款	項	目						
3	1	5	担当部局・課名	地域共創部共生社会推進課				
事業名			被爆80周年平和記念事業（被爆80周年平和記念事業・平和祈念事業補助金）					
事業区分			新規事業					
			政策 1 健康で安心感のある暮らし					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		⑤その他報償費	745	635	0	110	85.0%
	② 需 用 費		①消耗品費	306	200	0	106	65.0%
	③ 委 託 料		①業務委託料（物件費）	900	807	0	93	90.0%
	④ 負担金、補助及び交付金		⑤補助金（補助費）	725	725	0	0	100.0%
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →		2,367	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		72	該当／頁	152	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →		2,439	該当／頁	153	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和7年度	2,439		0	0	0	8	2,431	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他		若い世代による被爆地での平和学習支援補助金					
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	市内高校生を対象として、被爆80周年の節目の年に、原爆や戦争の悲惨さを若い世代に継承し、改めて平和について考える取組を実施する。また、平和を願う思いの継承と市民意識の高揚を図るため、「平和の灯ろうコンテスト」、「平和のつどいMIYOSHI2025」などの平和祈念事業を実施する。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状 況写真／図面等	○報償費(⑤その他報償費) 634,160円 ・平和のつどいMIYOSHI2025アトラクション出演料 600,000円ほか ○需用費(①消耗品費) 199,481円 ・被爆80周年平和記念事業(市内高校生の取組)に係る消耗品 180,772円ほか ○委託料(③業務委託料) 806,300円 ・ひと・かがやきフェスタ2025講演会委託料 770,000円 講演会:住岡 健太さん「平和×〇〇～私の平和を考える～」 日時:令和7年12月7日(日)13時～16時まで 参加人数:88人 同時開催:中学生人権作文表彰者による作文朗読、人権についての寸劇、人権ハート絵かがやきメッセージ、基町高等学校作成の原爆の絵等の展示 ・ひと・かがやきフェスタ2025チラシデザイン料 36,300円 ○負担金、補助及び交付金(⑤補助金(補助費)) 725,000円 ・平和のつどい実行委員会補助金 600,000円 【内容】「平和のつどいMIYOSHI2025」(「平和の灯ろうコンテスト」「平和への想い」の作品表彰など) 【開催日】令和7年8月1日 ・三良坂平和を願う会補助金 125,000円							
	  平和のつどいMIYOSHI2025 被爆80周年平和記念事業(高校生の取組)							
別添資料等	無							
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	被爆80周年平和記念事業として実施した市内高校生の取組は、各学校において事業を進める前に、平和について学ぶなどし、若い世代への平和への想いの伝承につながりました。 「平和の灯ろうコンテスト」には、市内外の福祉施設や小中学校の児童・生徒などから396点応募があり、「平和のつどいMIYOSHI2025」には昨年度よりも多い、約500人の参加がありました。また、広島平和記念公園の「原爆の子の像」に手向ける折り鶴の募集には、市民から34,716羽が寄せられました。 多くの市民参加による被爆80周年平和記念事業を展開することで、恒久平和の願いの浸透を図ることができました。							

款	項	目							
3	1	5	担当部局・課名 地域共創部共生社会推進課						
事業名			人権啓発推進事業						
事業区分			継続事業 政策 1 健康で安心感のある暮らし						
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		②講師謝礼		408	302	0	106	74.0%
	② 報 償 費		⑤その他報償費		806	753	0	53	93.0%
	③ 需 用 費		①消耗品費		366	366	0	0	100.0%
	④ 負担金, 補助及び交付金		①負担金 (補助費)		337	337	0	0	100.0%
	⑤ 負担金, 補助及び交付金		⑤補助金 (補助費)		163	163	0	0	100.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) → 1,921 決算に関する説明書						
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 → 157 該当/頁 152						
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 2,078 該当/頁 153						
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	2,078		0	257	0	0	1,821		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		人権啓発地方委託金 (60千円) 、地域日本語教育を核とした多文化共生の地域づくり支援事業委託金 (197千円)						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	講演会の実施や、各学校での人権の花運動、人権ハート絵制作を実施することで、人権について考え理解を深める機会を作る。また、在住外国人が暮らしやすい環境づくりを推進するため、外国人のための生活相談や日本語学習支援を実施する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	○報償費(②講師謝礼)301,493円 ・PTA人権教育講演会 26,481円 ・外国人相談に係る講師謝礼 122,232円 ・日本語学習支援スタッフ養成講座講師謝礼 152,780円 ○報償費(⑤その他報償費)752,654円 ・日本語指導謝礼 705,474円ほか ○需用費(①消耗品費)365,720円 ・人権ハート絵かがやきメッセージ展 30,159円 ・「人権の花」運動 177,000円 ・人権啓発冊子 48,774円 ほか ○負担金、補助金及び交付金(①負担金(補助費))336,546円 ・三次市人権擁護委員協議会負担金 336,546円 ○負担金、補助金及び交付金(⑤補助金(補助費))163,000円 ・三次地区保護司会補助金 163,000円								
	 人権ハート絵かがやきメッセージ								
別添資料等	無								
(事業一覧等)	 人権の花運動								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	「人権の花」運動や「ひと・かがやきフェスタ2025」の開催を通じて、子どもから大人まで幅広い世代に対し、人権尊重の意識啓発を図ることができました。また、小中学生による「人権ハート絵かがやきメッセージ」の展示により、人権を身近な課題として考える機会を創出し、市民の人権意識の向上及び人権尊重の理念の普及・定着に寄与しました。 みよし日本語教室では、日本語学習機会の提供により、市内在住外国人の日本語能力の向上及び地域社会への参加促進を図ることができました。また、日本語学習支援スタッフ養成講座の実施により支援人材の確保・育成を進め、増加する学習ニーズに対応できる体制の充実につながりました。								

款	項	目	担当部局・課名	地域共創部共生社会推進課				
3	1	5						
事業名		男女共同参画推進事業						
事業区分	継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		①業務委託料(物件費)	1,294	705	0	589	54.0%
	② 負担金、補助及び交付金		⑤補助金(補助費)	1,975	1,662	0	313	84.0%
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) →		2,367	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		772	該当/頁	154	
	臨時会 補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 →		3,139	該当/頁	157	
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和7年度	3,139		0	0	0	0	3,139	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	「三次市男女共同参画基本計画(第4次)～一人ひとりがしあわせな社会をめざして～」に基づき、市民一人ひとりが、自らの選択によって仕事と地域活動を含めた暮らしの両立において充実した人生が送れるよう、男女が個人として能力を発揮する機会が確保され、ともに活躍できる社会の実現をめざし、男女共同参画推進事業を実施する。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	委託料(①業務委託料(物件費)) 704,500円 ・MIYOSHI2026国際女性デー 男女共同参画推進映画上映会 業務委託料:176,000円 男女共同参画推進映画上映を行い、男女共同参画について考えていただく機会を提供した。 ・ポスター・チラシ作成業務委託料:102,300円 ・令和7年度男女共同参画職員研修委託業務:242,500円 ・男女共同参画推進講演会講師派遣 講師委託料:115,500円(R7年度 3件) ・三次市男女共同参画基本計画(第5次)策定に係る業務:68,200円 負担金、補助金及び交付金(⑤補助金(補助費)) 1,661,288円 ・三次市女性連合会補助金 1,414,978円 男女共同参画社会の実現を活動目標に掲げている三次市女性連合会に対し、補助金を交付して活動を支援した。 ・三次市女性活動サポート事業補助金 246,310円 市民を対象に実施した男女共同参画推進事業に対し、補助金を交付した。							
	  男女共同参画推進シールアンケート 男女共同参画推進講演会							
別添資料等	無							
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	男女共同参画推進講演会・映画上映会を実施し、幅広い世代の方へ男女共同参画について考えていただく機会を提供しました。また、広報紙、HPなども活用しながら市民啓発を行い、今年度は男女共同参画推進シールアンケートも実施し、男女共同参画の理解の浸透を図りました。また、三次市女性連合会の活動を支援し、講演会等を通して男女共同参画を推進しました。 三次市男女共同参画基本計画(第5次)策定に係るアンケートを実施し、男女共同参画に関する意識、実態、及びニーズなどを把握することができました。							

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部共生社会推進課				
7	1	2							
事業名			女性活躍推進プラットフォーム事業（アシスタlab.）						
事業区分			継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		①業務委託料（物件費）		9,840	8,948	0	892	91.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →			8,948	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			310	該当／頁	228	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →			9,258	該当／頁	229	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	9,258		2,500	0	0	5,400	1,358		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金		地域女性活躍推進交付金						
	県支出金								
	負担金等その他		過疎地域持続的発展基金繰入金						
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			女性の活躍推進・就業率向上をめざして、それぞれのライフステージに合わせた、女性の多様な選択やチャレンジを支援し、女性の「働く」を応援する環境整備の一環として、女性活躍推進プラットフォーム事業「アシスタlab.」を開設し、起業・就業の機運醸成と必要な支援を行う。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等			○委託料（①業務委託料（物件費））8,947,224円 ・女性起業支援業務委託料：7,999,244円 委託内容：起業（創業）セミナー、就職セミナー、専門家による個別相談、交流会、会員によるトライアルチャレンジ、コーディネート業務など 会員数 638人 利用者数 2,163人 セミナー参加者 184人 個別相談 22人 交流会 4回 ・アシスタlab. HP業務委託料：705,100円 ・アシスタlab. 会員情報システム作成業務：107,800円 ・アシスタlab. イベントスケジュールチラシ作成業務：77,000円 ・アシスタlab. HPみよしアントレーヌ更新業務：39,600円 ・女性起業家「みよしアントレーヌ」認定証作成業務委託料：18,480円 R7年度みよしアントレーヌ認定件数 1件（累計109人）						
別添資料等 無 （事業一覧等）			  交流会 創業セミナー						
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			起業者数（みよしアントレーヌ認定件数）は、令和7年度末で109人となり、会員数も58人増加しました。女性のそれぞれのライフステージに合わせた、コーディネートや各分野の専門家による個別相談など、多様な働き方が選択できる伴走型の支援が成果を上げています。年々会員数も増加しており、また、イベント来場者数が増加し、アシスタlab. の認知度も上がってきています。 創業セミナーでは、毎回定員を超える申込があり、また、交流会やマルシェ、トライアルチャレンジを行うことで、起業を目指す方の成長の機会として、さらには情報共有の場として大きな役割を担っています。						

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部 共生社会課				
10	5	5							
事業名			女子野球チーム支援事業						
事業区分		新規事業		政策 4 豊かな心と生きがい					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金, 補助及び交付金	⑤	補助金 (補助費)	12,000	12,000	0	0	100.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①~⑤の計) →		12,000	決算に関する説明書	
	9月補正	○	3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →		0	該当 / 頁	285
	臨時会 補正			⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →		12,000	該当 / 頁	285	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	12,000		0	1,400	0	10,600	0		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		わがまち♡スポーツ推進事業補助金						
	負担金等その他		企業版ふるさと納税基金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			女子硬式野球クラブチーム「三次ブラックパールズ」の運営や活動を支援し、チームの活動を通して企業とのつながりや雇用、女性活躍の推進を図り、地域課題の解決につなげることを目的とする。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表 / 状況写真 / 図面等	○負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金(補助費))12,000,000円 女子硬式野球クラブチーム「三次ブラックパールズ」のチーム運営に係る経費 ■出場大会実績 ・ルビー・リーグ2025:8戦 ・第11回女子硬式野球西日本大会 ・福広マッチエキシビジョンマッチ ■地域貢献活動実績 ・スポーツ教室の実施(市内小中学校、トラスポ!ひろしま等) ・イベント・行事等への出演(三次さんさい祭り、三次市防災キャンプ、みよしフェスタ2025等多数) ・大会競技運営支援(侍ジャパン女子代表合宿、ウエスタン・リーグ、JABA日本選手権中国予選等)								
	別添資料等 無 (事業一覧等) 								
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	女子硬式野球クラブチーム「三次ブラックパールズ」は、大会参加や試合のみならず地域活性化や女性活躍の推進に寄与します。チームの活動は市民の関心を引き、スポーツ文化(女子野球文化の定着)を育てるとともに、地域経済にもプラスの影響を与えています。地元企業との連携により、スポーツ推進と人材育成が進んでいます。また、チームの活動は本市の認知度を高めるとともに、地域課題解決への取り組みを通じてコミュニティの強化や地域全体の士気向上にも寄与します。今後もこのチームが地域に根ざし、更なる発展を遂げることが期待されます。								

款	項	目							
10	5	5	担当部局・課名 地域共創部 共生社会課						
事業名			スポーツのまちみよし応援事業（子どもの夢を応援事業等）						
事業区分			継続事業 政策4 豊かな心と生きがい						
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金、補助及び交付金	⑤	補助金（補助費）	16,600	15,665	0	935	94.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥（①～⑤の計） →		15,665	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当／頁	285
	臨時会 補正				⑧（⑥＋⑦）事業決算合計額 →		15,665	該当／頁	285
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	15,665		0	3,600	0	1,779	10,286		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		わがまち♡スポーツ推進事業補助金						
	負担金等その他		スポーツ・文化みよし夢基金						
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	全ての人がそれぞれのライフステージに応じたスポーツとのかかわり方を考え、「いつでも」、「どこでも」、「誰も」が普段の生活の中で自然とスポーツに親しみ、健康でいきいきと活力あふれる「スポーツのまちみよし」を実現することを目的に、「三次スポーツコミッション」が中心となり、関係団体等との連携により各種スポーツの推進に係る取組を行う。								
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	○負担金、補助及び交付金（⑤補助金(補助費)）15,665,090円 ■インナー事業：3,395,510円 各種スポーツ教室の開催や県内トップスポーツチームとの交流など、市民がスポーツを「する」「みる」機会の創出を図る取組。 ・各種スポーツ教室事業(スポーツのまちみよし応援事業)：2,256,410円 ・トップチーム学校等訪問事業：294,442円 ・女子野球大会誘致関連：844,658円 ■アウター事業：2,163,534円 各種大会や合宿の誘致、市内各スポーツ施設・宿泊施設の稼働率向上などスポーツを通じた交流人口の拡大や地域経済活性化を図る取組。 ・侍ジャパン女子代表合宿等各種大会・合宿の誘致及び受入れ：2,163,534円 ■その他：10,106,046円 三次スポーツコミッションの運営に係る経費：10,106,046円								
別添資料等	無								
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	令和6年度に設立した「三次スポーツコミッション」を中心に、関係団体と市が一体となり官民共創でスポーツを通じた地域活性化に取り組みました。また、「三次スポーツコミッション」を一般社団法人化するための手続きを行いました。								

款	項	目							
10	6	1	担当部局・課名 地域共創部 共生社会課						
事業名			スポーツのまちみよし応援事業（スポーツ等合宿助成事業）						
事業区分		継続事業		政策 4 豊かな心と生きがい					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金、補助及び交付金		⑤補助金（補助費）		4,500	3,487	0	1,013	77.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） → 3,487				決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 → 0				該当／頁	286	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 → 3,487				該当／頁	286	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）			令和7年12月に発生したみよし運動公園の停電により、各スポーツ施設等を利用した合宿、大会等が中止となり、施設の稼働率が減少したことによる不用額。						
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	3,487		0	0	0	0	3,487		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			市内の各スポーツ施設等を利用した合宿、大会等における市内宿泊費用を助成することで、交流人口の拡大や施設の稼働率の向上をめざす。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等			○負担金、補助及び交付金（⑤補助金(補助費)）3,487,870円 スポーツ合宿やスポーツ大会のため三次市内に宿泊し、三次市内のスポーツ施設等を利用した団体等に対し宿泊助成を行った。 ・申請件数：103件(内訳：合宿42件、大会36件) ・延べ利用者数：3,431人 ・利用のあった主なスポーツ施設等： みよし運動公園各施設、電光石火きんさいスタジアム三次、カーター記念球場、電光石火みよしパーク、三次市営球場、とみしの里グラウンド、吉舎海洋センター、三和総合運動公園等 ・申請のあった種目： サッカー、野球、ソフトテニス、陸上競技、バレーボール、ハンドボール、テニス、剣道、バスケットボール、水泳						
別添資料等									
無									
（事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			みよし運動公園の高圧ケーブル劣化による公園内施設の停電により、見込みを下回ったが、施設の稼働率の向上及びスポーツを通じた交流人口の拡大に寄与しました。						